

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
		地域医療、福祉・介護、教育		○		○	
		地域コミュニティ・集落再生		○		環境	
		地域交通・情報通信		○		まちづくり	
ふりがな		たしろ たかお					
氏名		田城 孝雄					
所属	名称	放送大学					
	役職	教授					
連絡	住所	(公開)	〒 261-8586				(職場)
		(公開)	千葉県千葉市美浜区若葉2-11				
	連絡先	(公開)	E-Mail ttashiro[アットマーク]juntendo.ac.jp				
		(公開)	TEL 043-298-4112	FAX 043-298-4148			
連絡方法	E-Mailでお願いします						
略歴	<p>昭和55年 東京大学医学部保健学科 卒業 同年 東京大学医学部医学科学士入学</p> <p>昭和59年 東京大学医学部医学科 卒業、 昭和63年 東京大学医学部第一内科助手</p> <p>平成 2年 米国Michigan大学 内科 Research Fellow</p> <p>平成 9年 東京大学医学部附属病院 医療社会福祉部 助手</p> <p>平成14年 日本医師会総合政策研究機構 主任研究員</p> <p>平成15年 順天堂大学医学部 公衆衛生学講座 講師</p> <p>平成19年 同 准教授</p> <p>平成23年 順天堂大学 スポーツ健康科学部 健康学科 教授</p> <p>平成24年 放送大学 教養学部 教授 現在に至る</p> <p>平成20年 内閣官房地域活性化統合本部 地域活性化推進チーム 委員</p> <p>平成21年 厚生労働省 医政局 地域医療再生計画に係る有識者会議 委員</p> <p>平成18年 世田谷区 地域保健福祉審議会 委員</p> <p>平成25年 内閣官房地域活性化統合本部 地域再生推進委員会 委員長</p>						
著作・論文等	<p>地域医療連携「尾道方式」を「理想のモデル」から「標準モデル」へ、医療と社会2004、在宅医療ハンドブック(編著)、中外医学社 2001、医療連携実践ガイドブック(監修・編著)治療増刊号 2008、在宅医療ガイドブック(編著)、中外医学社2008、日本再生のための医療連携 高久史磨監修 田城孝編著 2012、他 地域医療連携・在宅医療に関する著書・論文多数</p>						
取組概要	<p>平成9年に国立大学医学部付属病院として初めての総合医療連携部門(医療社会福祉部)を立ち上げました。さらに地域包括ケアの先進モデルである広島県尾道市の取組みの解析を行い、多くの知見を得ました。東京都保健医療計画策定協議会改定部会委員や、世田谷区地域保健福祉審議会での議論を通じ、地域における保健・医療・福祉計画の立案に関与しました。また、板橋区乳がんの地域連携パス検討委員会委員、足立区糖尿病対策協議会アドバイザー、横須賀市医師会医療連携協議会アドバイザー、さらに豊島区在宅医療推進協議会会長、文京区在宅医療推進協議会部会長など、行政と三師会などとの協議会の運営に関わり、いろいろな立場の方々の意見を尊重しながら、地域の保健・医療・介護・福祉のネットワーク作りに取り組んでいます。また、全国で招請され講演を行っております。</p> <p>内閣官房地域活性化統合本部 地域再生推進委員会 委員長として、地域再生を推進する方策の検討に取り組んでいます。</p>						
メッセージ	<p>尾道市の取組みなど、先進地域では、様々な知恵と工夫がみられます。また問題意識が高く、課題を解決しようとする熱意とやる気に満ち溢れています。そのような全国各地の優れた取組みを、いろいろな要素・因子に分析して、それぞれの地域で実行できるように伝えていきたいと思っております。</p> <p>ひとつひとつの要素・因子に分解してみれば、全国各地で、実行可能です。全国の優れた取組みの中から、皆さんの地域で応用できるものを選び、それぞれの地域で、皆さんで協議して、試行錯誤しながら、地域ごとに独自に進化させた、いわば御当地ラーメンのように、地域にあった取組みを完成できるように、お手伝いしたいと考えております。</p>						
関連ホームページ	-		活動エリア		全国		

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。